



# 高小だより

津市立高茶屋小学校  
令和元(2019)年9月  
文責：校長 石川 昌弘

## 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果が、7月末に発表されました。この調査は、今年で12回目になります。

昨年度まで、国語、算数ともにA問題は主として「知識」に関する問題、B問題は主として「活用」に関する問題と分かれていましたが、今年から、A問題とB問題が一体化されました。



結果については、全国的な傾向として、学力の底上げ傾向が続いており、毎年、地域差の縮小が進んできています。右の表は、国、三重県、津市の平均正答率を比べたものです。新聞などのマスコミでも報道があったように、今年、県と津市は同じ水準で全国を上回ることができました。

|     | 国語    | 算数    |
|-----|-------|-------|
| 全国  | 63.8% | 66.6% |
| 三重県 | 64    | 67    |
| 津市  | 64    | 67    |

さて、高茶屋小学校の結果ですが、昨年度より各教科で全国平均に近づきましたが、残念ながら津市や三重県の平均には届きませんでした。しかし、校内の研修で国語科を研究してきたことや、算数科で習熟度別クラスによる指導を進めてきた結果、成果は徐々に出てきており、進展も見られます。

今後も引き続いて研究を進め、指導法の工夫・改善等を図っていきたいと思います。

## 高茶屋小の特徴 『国語』では

校内の研修で「子どもたちの書く力を高める取組」の研究を進めてきたせいか、文章に図表やグラフを用いた目的をとらえる問題については、全国平均を5ポイント以上も上回っていました。そして、「条件に合わせて書く」の問題でも全国平均を上回っていましたが、もともと全国平均も、とても低く全国的な課題と言うことができます。ただ、単に書くのではなく、条件に合わせて書くというところにも力を入れて指導していきたいと考えています。



また、漢字の問題も大きく全国平均を下回りました。

- 次のひらがなを漢字でていねいに書きましょう。
- ア そこで、地域の人30人を調査のたいしょうとして…
- イ …学級の友達にかぎらず多くの友達に伝え…
- ウ 公衆電話についてかんしんをもってもらいたいと思います。

ある程度、同じ読みをする漢字を書くことができているのですが、文章に合った漢字を書くことができている子が少なかったです。このことから、日頃の漢字を書く指導で、ただ単に漢字練習するだけでなく、文章の中で正しく漢字を使うということを考えて漢字練習する必要があると考えます。

## 高茶屋小の特徴 『算数』では

算数では、台形の合同や棒グラフから必要な情報を読み取ることなどの問題は、全国平均を上回りました。

が、答えの求め方の説明を記述する問題は全国平均を大きく下回りました。四則計算の技能はある程度身に付けているものの、なぜその式を使って問題を解くのか、その式が意味することを説明するところが課題があることが明らかになりました。

このことは、4年や5年の「みえスタディチェック」の結果にも出ていて、共通する課題であることもわかりました。



今回の結果で、国語も算数も改善した部分も多くみられました。しかし、まだまだ十分でない部分や弱みも多くみられます。学校でもより工夫を重ねながら指導していきます。ご家庭でも家庭学習の支援等をよろしくお願いします。

③

ともやさんは、 $421 - 298$  や  $600 - 201$  のようなくり下がりのあるひき算について、次のように計算しやわい式にしてみました。

【ともやさんの計算の仕方】

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| $421 - 298 = \square$ | 変わらない |
| $423 - 300 = 123$     |       |

だから、 $421 - 298$  の答えの  $\square$  は、123です。

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| $600 - 201 = \square$ | 変わらない |
| $599 - 200 = 399$     |       |

だから、 $600 - 201$  の答えの  $\square$  は、399です。



【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数は同じ数にたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないのでね。

④ 【ともやさんの計算の仕方】をもとに、 $350 - 97$  について、計算しやわい式にひく数の97を100にした式で考えます。

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| $350 - 97 = \square$  | 変わらない |
| $350 - 100 = \square$ |       |

だから、 $350 - 97$  の答えの  $\square$  は、 $\square$  です。

上の③、④に入る数を書きましよう。

ゆいさんは、くり下がりのあるひき算を計算したときにもとにした考えをふり返って、次のようにまとめた。

【ゆいさんがまとめたこと】

ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わりません。このことを使くと、計算しやわいひき算の式で考えることができます。

ことさんは、 $400 \div 25$  や  $90 \div 18$  のようなわり算についても、計算しやわい式にすることができると思い、次のように考えました。

【ことさんの計算の仕方】

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| $400 \div 25 = \square$ | 変わらない |
| $1600 \div 100 = 16$    |       |

だから、 $400 \div 25$  の答えの  $\square$  は、16です。

|                        |       |
|------------------------|-------|
| $90 \div 18 = \square$ | 変わらない |
| $10 \div 2 = 5$        |       |

だから、 $90 \div 18$  の答えの  $\square$  は、5です。

②、ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことさんの計算の仕方】をもとにまとめると、次のようになります。

下の□の中に、「おられる数」「おる数」「おの3つの空欄を使って書きましよう。

わり算では、

|           |
|-----------|
| □ ÷ □ = □ |
|-----------|

このことを使くと、計算しやわいわり算の式で考えることができます。

③ 【ことさんの計算の仕方】をもとに、 $600 \div 15$  について考えます。

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| $600 \div 15 = \square$ | 変わらない |
| $120 \div 3 = \square$  |       |

だから、 $600 \div 15$  の答えの  $\square$  は、 $\square$  です。

上の③にあてはまるものを、下の□の中から一つ選び、また、上の④にあてはまるものを、下の□の中から一つ選んで、おれを書きましよう。

ただし、おれ書、おれを認めておかないでね。

①  $\times 2, \div 3, \div 5$       ②  $\times 2, \div 3, \div 5$

さらに、上の③、④、⑤に入る数を書きましよう。

## ありがとうございました！！

8/31(土)の朝早くからPTA奉仕作業に多数の方に参加していただき、ありがとうございました。夏休み中に、運動場や花壇、学級園に生えた草を抜いていただいたり、運動場の側溝の溝さらえをしていただいたりして、とてもさっぱりしました。2学期も、子どもたちが気持ちよく活動することができます。今後も、本校の教育活動にご協力ご支援よろしく願いいたします。

